

形成外科



■山下 理絵

形成外科・美容外科・形成再生医療部長，
日本形成外科学会専門医，
日本美容医療協会認定専門医，
日本美容医療協会美容レーザー認定医，
日本レーザー医学会指導医・専門医，
日本熱傷学会専門医，日本抗加齢医学会専門医
日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医，
日本創傷外科学会専門医，
日本再生医療学会専門医，
Medical skin care specialist Director Doctor，
医学博士

■酒井 規

日本形成外科学会専門医，
日本抗加齢医学会専門医

■松尾 由紀

形成外科・美容外科医長，
日本形成外科学会専門医，
日本抗加齢医学会専門医，
Medical skin care specialist Doctor

■近藤 謙司

形成外科・美容外科・形成再生医療医長，
日本形成外科学会専門医，
日本抗加齢医学会専門医，
日本形成外科学会皮膚腫瘍外科指導専門医，

日本再生医療学会専門医，
Medical skin care specialist Doctor

■遠山 哲彦

日本形成外科学会専門医

■白壁 聖亜

■小野 泰寛

2014年の形成外科・美容外科の出来事

1月：ASAPS：LAS VEGAS 3月Dallas

キャダバートレーニングに行って来ました。日本の法律ではできないので毎回貴重な体験です。ラスベガスでは、脂肪注入の脂肪はアップルジャムでした。アメリカではこのような講習を普通のホテルの宴会会場で行いました。



ダラスコスメティックサージェリーシンポジウム

2月：大雪の日にBe（美）JOY（女医）会

湘南鎌倉，女性医師の会，今年はなんと大雪・・・，

バス、車、電車も止まり、目的地は北鎌倉、どうしましょう？総務杉本さんにバスを出していただき決行。本当にお世話になりました。久しぶりの大雪で、鎌倉のあちこちに雪を見かけました。積もった雪はなかなか溶けませんでした。



A. 行き車の中から



B. 集合写真



C. 翌月曜

BeJOY会

4月：長崎，形成総会

一般演題，シンポジウム，パネル，ランチョンセミナー，座長など全部で7つ，あわただしい3日間でした。



形成外科学会総会

5，6月：休みゼロ，週末は学会で・・・

皮膚科総会，抗加齢学会，MSCS企業のセミナーなどいろいろ。6月10日に，急に声がでなくなりました。診断は「声帯結節」，2014年6月から1年半は大変な年でした。スタッフの助けにより，なんとか外来を

休まず続けることができました。

9月：カンヌface2に参加

Dr.Trevittが会長を務める学会に参加しました。2012，2013年と2回，私が会長をしている学会に来ていただいたお礼です。また，1回目の海外招待講演をしていただいたDr.Petitにも会うことができました。

同じ9月に日本抗加齢医学会の分科会である「第8回見た目のアンチエイジング」を主宰しました。



日本美容外科学会

10月：大雨洪水、病院水没の危機

台風襲撃，ゲリラ豪雨。病院前，そして川の氾濫まであと1mぐらいまでに。しかし，1時間後には水はスーッと引きました。



2014年10月16日：台風来襲

11月：第9回 日本美容抗加齢医学会

私が会長を務めているJ3Aの9回目を開催，今年も無事終了しました。



スタッフ一同

形成外科での治療

形成外科で扱っている疾患は病院ごとに違います。湘鎌形成では、形成外科で行われている医療のほとんどに対応できる体制を取っています。現在、形成外科で行っている医療を一部紹介させていただきます。

1) 創傷外科

◆急性の傷

切り傷、すり傷などのケガ、熱傷（軽傷から重傷）、顔面骨骨折、顔面軟部組織外傷、手足の外傷、指の骨折、腱断裂、切断指などの治療

◆慢性の傷

肥厚性瘢痕、傷痕、ケロイド、褥瘡、難治性潰瘍、虚血肢、糖尿病性潰瘍、壊死などの治療を行っている。傷はただくっつけばよいと考えるのは昔、行う治療により、治療経過および残存する傷痕に関係する。形成外科医は傷をきれいに早く治すスペシャリストです。



1歳熱傷後瘢痕拘縮の手術(ラップ療法の合併症)

2) 腫瘍外科

皮膚腫瘍（粉瘤、脂肪腫、ガングリオン）、皮膚悪性腫瘍（手術から化学療法まで）、軟部組織腫瘍、悪性腫瘍（肉腫など）、耳下腺、顎下腺腫瘍、悪性腫瘍（肉腫など）、血管腫、太田母斑などのレーザー治療などの皮膚表面の腫瘍や軟部組織腫瘍の治療を行い、形成外科で行う利点としては、傷をなるべく小さく、そして切除だけでなく最終的に残る傷をきれいに縫合し、最低限の傷跡にすることを心がけて

います。近医、皮膚科クリニックからの皮膚がん手術の紹介も多く、皮膚科クリニックとの連携も大切にしています。高齢化社会を迎え、皮膚がんは益々増えていくと思います。患者側に確実な手術を提供していきたいと日々考えています。



基底細胞癌の手術

3) 再建外科

腫瘍外科に含まれるが、乳がんなど切除後の再建、悪性腫瘍の術後の再建、外傷後変形の再建、特に乳がん後に再建は、再生医療の試みである脂肪幹細胞による再建を開始しました。

4) 先天奇形外科

口唇裂、口蓋裂などの口の奇形、埋没耳、副耳などの耳の奇形、眼瞼下垂、内反などの目の奇形、多合指症、裂手などの手や足の奇形、出臍などの腹部の奇形などの治療を行っている。また、産婦人科、小児科ドクターと連携し、出産後に見た目の異常がある場合、退院する前にアドバイスを行っています。

5) 美容外科

美容外科は主に2つに分かれる。ひとつは重瞼術や隆鼻術などのように、より理想に近づけるもの、もう1つはフェイスリフトに代表される老化のための治療である。当院では、両方の治療を行っています。高齢化社会になり、再近では近医眼科クリニックからの眼瞼下垂や眼瞼のたるみの患者さんの紹介が増えてきている。眼瞼挙筋の機能異常を診察し、保険

適応の手術と、たるみの自費診療を分け、診療を行っている。



術前

術後

眼瞼下垂の手術

形成外科・美容外科でのセンター計画

1) アンチエイジングセンター

(クリニック・ラ・プラーージュ葉山)

現在、葉山ハートセンター内にあります。アンチエイジングドック、美容皮膚ドックなどを行い、老化度を数値化し、個々の老化に対する治療を提案していきます。皮膚のアンチエイジングの他、頭髪のアンチエイジング、高濃度ビタミンC治療やキレーションなどの点滴治療、男性女性ともに起こる更年期の治療なども行っています。



治療前

ヒアルロン酸注射による治療後

鼻唇溝のしわ、たるみ

2) 再生医療&アンチエイジングセンター

再生医療とアンチエイジングを組み合わせた医療を開始いたしました。昨年の年報に「アンチエイジングに筆者が研究していた細胞培養の技術、再生医療を分野組みこんでいくことが構想だ」と書いたのですが、再生医療の最先端である脂肪細胞由来幹細胞 (stem cell) を用いた治療を開始しました。現在、主に行っているのは、乳癌術後の変形に対する治療です。乳癌手術後の患者さんは、乳房切除による喪

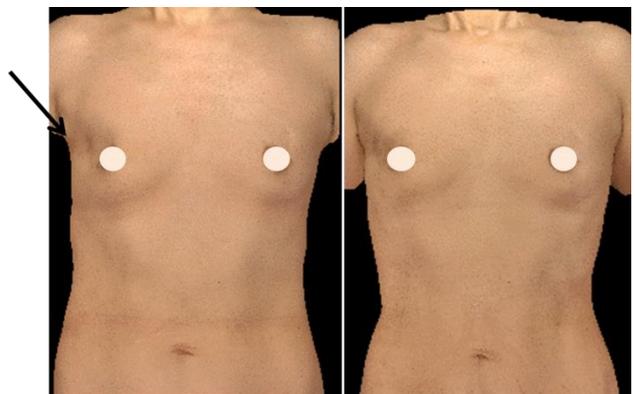
失感、手術痕と陥凹部、日常生活の不都合など精神的苦痛を感じている人が多いようです。そういった人の心身のQOL向上が期待される治療に乳房再建があります。従来はインプラントや筋肉皮弁を使用した大きな手術しかありませんでした。今回始めた方法は、特殊な機器 (cellution800) を使用し、自分の脂肪から幹細胞を取り出し、自分の脂肪と混合して、乳房に移植する方法です。従来は脂肪のみだと生着は10~40%でしたが、この方法だと70%程度に上がりました。ウエストや太ももの余分な脂肪が変形した乳房にいかされるわけですから、痩せて、改善される一石二鳥の効果。この新治療は保険治療適応外で、自費診療になります。治療に関しては、専門のコンシェルジュが無料で相談を行っています。この方法は乳癌術後だけでなく、豊胸手術やその他の陥凹変形目的にも行っています。



治療前

メディカルコスメ+レーザー治療

しみの治療



手術前

手術6ヶ月後

乳癌術後の再建: 自己脂肪幹細胞+脂肪移植

3) 皮膚レーザーセンター

子供のあざ治療を中心に、最新のレーザー設備を誇るセンターを維持していきたいと思っております。日本全国から患者さんが集まっています。高価なレーザー機器ですが、必要性を理解していただいております。今後は保険診療面で、国や厚生労働省へ働きかけもしていく必要性を実感しております。



レーザー治療前

7回治療後

太田母斑の治療

4) 創傷治癒熱傷外傷センター

熱傷から褥瘡まで幅広い創傷疾患の初期治療を行い、その後に生じる肥厚性瘢痕やケロイドの治療までを行います。そこには多くのメディカルドクター、そしてコメディカルがかかわっています。創傷治癒は医療の原点です。今後はwound healingもセンター化する構想です。新病院の2階にできていて、今はまだ稼働していないので、次の年報時にはお知らせできるようにしたいと思っています。まず、今まで自分が行ってきた皮膚の細胞(線維芽細胞, 表皮細胞)の培養を行う予定です。

2014年度

湘南鎌倉総合病院 形成外科・美容外科業績

I.論文

①総説

1. 近藤謙司, 山下理絵. フットケアにおける下肢血流検査. 第5回OXY-2 組織酸素飽和度(StO₂)日本フットケア学会雑誌, 2014.

2) 山下理絵. 若く見える人に備わっているアンチエイジング能力, The anti-aging secret of people who look young, 2014.

II.学会・シンポジウム

①シンポジウム

- 1) Rie Yamashita M.D., Ph.D., Yuki Matsuo M.D., Kenji Kondo M.D., Tetsuhiko Toyama M.D., Mia Shirakabe M.D., Tadashi Sakai M.D.: filler update, IMCAS. Paris, 2014, 1.
- 2) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. にきびとにきび痕の治療 にきび進行期別治療. 第57回日本形成外科学会, 長崎, 2014, 4.
- 3) 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. How to Laser Toning. 第57回日本形成外科学会, 長崎2014, 4.
- 4) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. ダウンタイムの少ないfractional rejuvenation. 第57回日本形成外科学会, 長崎, 2014, 4.
- 5) 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 脂肪幹細胞含脂肪移植 ヒト幹指針を得るには. 第57回日本形成外科学会, 長崎, 2014, 4.
- 6) 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. PAD治療におけるマゴットセラピーの位置づけ Maggot Debridement Therapy (MDT) ~形成外科の立場から~. 第3回マゴット研究会, 鎌倉, 2014, 4.
- 7) 山下理絵. 皮膚科医が始める美容皮膚科的治療 2014. 日本皮膚科学会, 横浜, 2014, 5.
- 8) 山下理絵. 美容医学とアンチエイジング. 第32回日本美容皮膚科学会, 名古屋, 2014, 8.
- 9) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白

-
- 壁聖亜, 酒井規. シミ・レーザー・IPL治療の実
際と合併症. 第14回日本抗加齢医学会, 大阪,
2014, 6.
- 10) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 美容レーザー治療の現況. 第1
回神奈川レーザー治療研究会, 横浜, 2014, 6.
- 11) 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 創傷管理と被覆材虚血肢の創
傷管理. 第6回下肢救済学会, 札幌, 2014, 6.
- 12) 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 瘢痕の低侵襲治療 瘢痕に対
するレーザー治療の現況. 第7回創傷外科学会,
香川, 2014, 7.
- 13) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. ボツリヌストキシン&レーザー・
光のコンビネーション治療. 第37回日本美容外
科学会, 東京, 2014, 9.
- 14) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 注入剤(ヒアルロン酸他)に
おける注意点. 第37回日本美容外科学会, 東京,
2014, 9.
- 15) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 美容医療でどう使う **Qスイッチ**
Nd:YAGレーザー. 第37回日本美容外科学
会, 東京, 2014, 9.
- 16) 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 脂肪注入 脂肪幹細胞加脂肪
移植. 第37回日本美容外科学会, 東京, 2014, 9.
- 17) 山下理絵. TRI-BEAMTMRich-PTPTM Q-Switched
Nd:YAG Laser 次世代のレーザートニングの
有用性と可能性. 第37回日本美容外科学会, 東
京, 2014, 9.
- 18) 松尾由紀, 山下理絵, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. IPL Toning. 第37回日本美容外
科学会, 東京, 2014, 9.
- 19) 山下理絵. 顔のアンチエイジングと医学的根拠.
第8回見た目のアンチエイジング, 品川, 2014, 9.
- 20) 山下理絵. 傷跡・瘢痕に対するレーザー治療.
第8
回見た目のアンチエイジング, 品川, 2014, 9.
- 21) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. レーザートニングその理
論・効果・安全性は Laser Toningとは? 第34回
日本レーザー医学学会, 新宿, 2014, 11.
- ②一般演題
- 1) Rie Yamashita M.D., Ph.D., Yuki Matsuo M.D.,
Kenji Kondo M.D., Tetsuhiko Toyama M.D.,
Mia Shirakabe M.D., Tadashi Sakai M.D. :
Lipo-trasfer, Skin master course2014, Dallas,
2014, 3.
- 2) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 当院でのPRP (Platelet Rich
Plasma) を用いた治療の現状. 第57回日本形成
外科学会総会, 長崎, 2014, 4.
- 3) 遠山哲彦, 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 白
壁聖亜, 酒井規. 鼻部に生じた皮膚悪性腫瘍の
切除再建の検討. 第57回日本形成外科学会総会,
長崎, 2014, 4.
- 4) 遠山哲彦, 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 白
壁聖亜, 酒井規. V.A.C.システムを用いた小
児の植皮後固定. 第55回日本形成外科学会総会,
東京, 2012, 4.
- 5) 松尾由紀, 山下理絵, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. 足底部に生じた骨化生を伴う
脂肪腫. 第57回日本形成外科学会総会, 長崎,
2012, 4.
- 6) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白
壁聖亜, 酒井規. PAD患者に対する全身振動療

- 法の効果—第2報—Celution 800 System®使用.
第57回日本形成外科学会総会, 長崎, 2014, 4.
- 7) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. Maggot Debridement Therapy (MDT) vs Surgical Debridement Therapy (SDT). 第3回マゴット研究会, 鎌倉, 2014, 4.
- 8) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. V . A . C. systemを用いた熱傷治療の工夫 第2報. 第40回日本熱傷学会, 埼玉, 2014, 6.
- 9) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 熱傷に対する保存的治療方法 LEDの検討第2報. 第40回日本熱傷学会, 埼玉, 2014, 6.
- 10) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 当院でのPRP (Platelet Rich Plasma) を用いた治療の現状. 第14回日本抗加齢医学会, 大阪, 2014, 6.
- 11) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. PAD患者に対する処置 手術時の麻酔方法の検討. 第7回創傷外科学会, 香川, 2014, 7.
- 12) Rie Yamashita M.D., Ph.D., Yuki Matsuo M.D., Kenji Kondo M.D., Tetsuhiko Toyama M.D., Mia Shirakabe M.D., Tadashi Sakai M.D. : Fat injection, IMCAS Asia 2014, HongKong, 2014, 8.
- 13) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 脂肪注入 脂肪幹細胞加脂肪移植. 第37日本美容外科学会, 東京, 2014, 9.
- 14) 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 乳癌術後二次再建 ティッシュエキスパンダーで生じたアレルギー反応. 第2回JOPBS, お台場, 2014, 10.
- 15) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 乳癌術後二次再建 脂肪幹細胞加脂肪移植 適応を考える. 第2回JOPBS, お台場, 2014, 10.
- 16) 岸陽子, 山下理絵, 近藤謙司, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 蒙古斑・異所性蒙古斑のレーザー治療 小児例・成人例に対する治療の注意点. 第34回日本レーザー医学学会, 新宿, 2014, 11.
- 17) 近藤謙司, 山下理絵, 松尾由紀, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 熱傷に対する保存的治療方法 LEDの検討. 第34回日本レーザー医学学会, 新宿, 2014, 11.
- 18) 山下理絵, 松尾由紀, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. 増えるいちご状血管腫の治療 当院での治療の現状. 第34回日本レーザー医学学会, 新宿, 2014, 11.
- 19) 松尾由紀, 山下理絵, 近藤謙司, 遠山哲彦, 白壁聖亜, 酒井規. サーモンパッチ・ウンナ母斑の治療適応に関して. 第34回日本レーザー医学学会, 新宿, 2014, 11.
- 20) Rie Yamashita M.D., Ph.D., Yuki Matsuo M.D., Kenji Kondo M.D., Tetsuhiko Toyama M.D., Mia Shirakabe M.D., Tadashi Sakai M.D. : Lipo-trasfer, A4M 2014, LasVegas, 2014, 12.
- ③招待・教育講演
- 1) 山下理絵. あざ, しみレーザー治療の実際. 神奈川医師会, 鎌倉, 2014, 2.
- 2) Rie Yamashita. Pico laser. Sanfrancisco, 2014, 4.
- 3) 山下理絵. 女のやる気, ホルモンによる肌の変化. アンチエイジング医師団, 東京 (外国人記者クラブ), 2014, 3.
- 4) 山下理絵. にきびの治療. 第6回MSCS, 東京, 2014, 5.
- 5) 山下理絵, 近藤謙司. OUMeeting : Wound Healing

創傷治癒，傷をはやく・きれいに治すには？

鎌倉，2014，6.

- 6) 山下理絵. しみ・くすみ治療のアプローチ. 国際美容医療学会，東京，2014，7.
- 7) 山下理絵. Oncology of Plastic Surgery. 第7回MSCS 東京，2014，9.
- 8) 山下理絵. ヒト脂肪幹細胞加脂肪移植術 乳房再建の現状，東京（記者クラブ会），2014，9.
- 9) 山下理絵. レーザー・光治療器を用いた美容治療戦略. 第9回Total Skin Therapy(TST), 東京, 2014, 10.
- 10) 山下理絵. Aging complex pigmentationの治療. 第10回アンチエイジングセミナー，品川，2014，10.
- 11) 山下理絵. IPLの基礎と臨床 美容レーザー治療研究会，東京，2014，11.
- 12) 山下理絵. レーザー治療の現況 第1回浜松レーザー研究会，浜松，2014，11.

④公開講座

- 1) 山下理絵. アンチエイジングの現況. アンチエイジング医師団，東京（外国人記者クラブ），2014，3.